



教育目標 誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり

今を問い直すこと

校長 白田 敏幸

「以前はよしとされていたことが、実は間違っていた。」という内容のテレビ番組を見た。そこで、ネットを使い、どういったことがあるのかについて調べてみた。

①冬にみかんを食べると風邪予防になる。

⇒ ビタミンCは体の調子を整えてはくれるが、風邪予防の効果はそれほどない。風邪予防の観点から言えば、ビタミンDの方が効果的である。ちなみに、ビタミンDは、日光に浴びることにより人間の体内で生成される。

②風邪をひいたときにはお風呂に入ってはいけない。

⇒ 高温の風呂に長時間入ることはNGではあるが、さっと入るのであれば、むしろ入った方がいいとされている。

③運動をするときには、バテてしまうので、水を飲んではいけない。

⇒ 私が小学校時代、陸上や水泳の練習の際の常識であった。指導者の目を盗んで水を飲んでいたことを思い出す。現代では、まったくもって考えられない指導である。

「不易と流行」。これは「松尾芭蕉」が「不易を知らざれば基立ちがたく、流行知らざれば風新たにならず。」と記したことから始まる。教育現場においても「教育の不易と流行」という言葉がある。

不易:時代を超えても変わらず価値があること

流行:時代の変化と共に変えていく必要があるもの

この言葉、とても便利な言葉である。便利な言葉である一方で、「不易と流行」という言葉が教職員の思考を邪魔していることが少なからずあるように感じる。また、この言葉を使えば、みんな何も言えなくなったり新しいことに挑戦できなくなったりするケースもあるように感じる。(これまでやってきたのだから…。これをする事で、子供に力をつけてきた…。伝統を大事にしなければならないのでは?)

教育の不易と流行とはなにか?こう問われたとき、皆さんなら、どう答えるだろう。

私は、校長として…

学校とは、変化が激しく予想することが難しい10年後の社会を、自分らしく生きていくための力をつける場所であるのとらえるのなら、「絶えず変化していくこと・変化を恐れないこと」が「学校における不易」であると捉えている。世の中が変わり続けるのであれば、学校もしっかり対応していく必要がある。新しいものに取り組むことや、削減することも含め、これまでしてきたことを変えることを目的にするのではない。今やっていることに対して、常に、「何のためにやっているのか?」「本当に必要なことなのか?」「他に方法はないのか?」と、「今」を問い直し、子供たちに本当に必要なことは何かを見極める感性を磨き続けていきたい。

令和6年度 1年生

【①地区 ②好きな教科 ③好きな食べ物 ④小学校でがんばりたいこと】



阿部 ^{るい} 流生さん

- ①高嶋
- ②算数
- ③りんご
- ④体育で速く走れること



岡崎 ^{れお} 蓮生さん

- ①弥勒寺
- ②図工と体育
- ③さくらんぼとメロン
- ④みんなと一緒に勉強すること



木村 ^{えいた} 映汰さん

- ①高嶋
- ②音楽
- ③りんご
- ④勉強をがんばりたい



齋藤 いちめさん

- ①高嶋
- ②音楽
- ③いちご
- ④算数で、数字を
書けるようになる



田宮 ^{なおゆき} 直幸さん

- ①弥勒寺
- ②体育
- ③肉
- ④にいに(お兄ちゃん)
みたいに勉強したい



【1年生を迎える会】

5・6年生が企画・運営した1年生を迎える会。1年生に喜んでもらおうと、時間がない中で準備を進めてきました。当日は、1年生はもちろんのこと、全校生が楽しめる会になりました。また、保護者の方も来校くださいました。ありがとうございました。



【第1回 学校運営協議会 報告】

5月1日(水)に、令和6年度の第1回学校運営協議会を実施しました。会議の内容は下記の通りです。

1 令和6年度委員(敬称略)

No.	氏名	地区	備考
1	岡崎 喜代高(会長)	弥勒寺	西部地区 区長会長
2	堀米 亮平(副会長)	下沢畑南	保護者
3	田宮 友和	弥勒寺	交通指導員
4	宇野 一哉	下沢畑北	保護者
5	田宮 篤	弥勒寺	保護者
6	宇野 実	上沢畑南	保護者
7	阿部 伴美	高嶋	保護者
8	小野 紫織	下沢畑北	保護者
9	白田 敏幸		校長



【任命書伝達】

1 学校経営方針の承認

校長から、学校経営方針について説明し、委員の皆様から承認していただきました。

最上位の目標は学校目標にも示してある通り、「誰一人取り残さないこと」(その子供に合った学びを保障すること)と「子供が自ら育つ」(〈育てる〉から〈育つ〉へ)学校をつくること。そして、重点的に子供に育んでいく力を「自ら行動する力」「人を大切にできる力」「考え抜く力」の3つとし、学校・家庭・地域が同じ目標に向かって子供たちを支援していくことを確認しました。

3 熟議(テーマに基づいてグループごとに話し合われたこと)

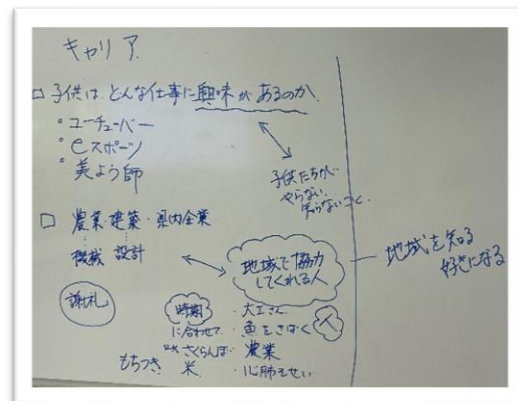
①「みんながお父さん、みんながお母さんの学校」をつくるために

- ◇ 昨年に引き続き、保護者として、地域民として学校に足を運ぶ。
- ◇ 自分の子供だけでなく、その周りの子供を育てることに意識を向ける。(子供が育つ環境を整えていく。)
- ◇ 「子供に教える」だけではなく、それ以上に「そっと寄り添う」「言葉かけをかける」ことを意識していく。



②「キャリア教育」の充実のために

- ◇ 多くの職業に触れる場を設ける。
- ◇ できる限り、保護者や地域の方に来校いただく。
- ◇ 職業に触れるということだけでなく、「人に触れる」機会として捉える。
- ◇ 考えられる職業(消防士、農業、理容、大工、魚屋等)





トライアングルコーナー

【令和6年度 谷地西部小学校 父母と教師の会 役員紹介】

【PTA会長 堀米 亮平】

今年度もPTA会長を務めさせていただきます。

2年目という事で、昨年とはひと味違う西部小になるよう、保護者の皆さん、先生方、地域の皆さんが三位一体となり、子供たちが過ごしやすい西部小になるようがんばります。

【PTA副会長 齋藤 耕宏】

学校の目標である「誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり」を達成するために、地域の方々や先生方と一緒にがんばっていきたいと思います。子供たちが大人になってからも、「西部小でよかった!」と思ってもらいたいと考えています。1年間ご協力よろしくお願いいたします。

【PTA副会長 宇野忍】

子供たちが学校生活を楽しく過ごせるよう、役員の皆様、先生方、地域の方々と一緒に協力しながら、がんばって取り組みたいと思いますので、保護者の皆様のご協力もお願いしたいと思います。

昨年に引き続き、副会長としてがんばります!1年間、よろしくお願いいたします。

【学校支援部 部長 堀米 喬】

今年度、学校支援部部長を務めさせていただくこととなりました。学校行事やPTA活動を通じて子供たちの思い出に残る行事になるよう精一杯サポートしていきたいと思います。1年間ご協力よろしくお願いいたします。

【学校支援部 副部長 田宮 篤】

先生、保護者、地域の方々と共に、「子供が育つ学校づくり」に少しでも貢献できるようにがんばりますので、皆様のご協力をお願いします。

まずは、6月1日(土)の運動会が成功するように、がんばりますので、皆様のあたたかい声援をよろしくお願いいたします。



R5 運動会への協力



R5 親子早朝作業